

## 夏休み経済教室 東京高校向け 記録 8月16日(木) 東京証券取引所

今年の東京会場は、昨年節電で使用できなかった東京証券取引所を使うことができるようになり、200人弱の先生方の参加を得て、盛況となった。

初日の16日は、お盆のお休みがあげだったが、それでも電車内は通常に比べてかなり空いていた。残暑は続いているが、秋の空になってきている。そのようななかの研修である。

### 第一時間目「高校教科書で教える金融・証券の仕組み」榊原先生担当

内容は、広島、大阪、名古屋と同一なので、広島の記録を参照してください。



講義をする榊原先生と参加の先生方

#### 質疑

##### 1 なぜCGが登場したのか？

時価会計の導入や新しい会計基準の導入によってCGがどう変わるか？

A：バブル崩壊後、企業業績が悪くなった時には、不祥事がそれまで以上に発生した。企業業績が悪化した時には、事実を隠蔽する動機が働くなど不祥事・不正は発生しやすく、コーポレートガバナンスに注目が集まった。バブル以前にも不祥事はあったが、バブル後も、今後も、不祥事がなくなることはない。

現行の会計制度は、買った時の価格で評価する取得原価主義をベースに一部時価評価を入れているが、国際会計基準では、全面的ではないにしろ時価会計をかなり重視した会計制度になってくる。現在、日本の家計制度は、国際会計基準に相当収斂された会計になっているが、日本が国際会計基準を導入するかどうかは、アメリカの動向を見ながらの判断待ちになっている。アメリカ大統領戦の影響で導入議論がストップしている。国際会計基準が導入されると、株式持合いをすることはこれまで以上に証券市場の影響を受けることになり、企業業績にも影響が出てくる。

##### 2 日本企業のマイナスイメージが多いのに、外国人投資家がなぜこんなに増えたのか？

A：バブル経済崩壊後から徐々に外国人投資家が増えてきた。当時から日本企業は技術力など総合性を考えると過小評価されて割安感があったのだと考えられる。

##### 3 ドイツ型は日本では導入できないか？

A：企業統治は、企業の歴史を抱えている。日本は日本的経営の時代は実態的にはドイツ型

に似ている部分もあり、会社の機関によるガバナンスに加えてコア従業員によるガバナンスもあった。日本も含めて世界の主要国は、ドイツではなく最大の資本市場国であるアメリカの制度を注視している。今後も客観的な状況とアメリカの経済力の大きさ、日本との関係を考えるとドイツ型は入ってくるとは考えにくい。

## 第二時間目「地理歴史を経済の観点から読み解く〈戦後世界経済史〉」篠原先生担当

内容は、広島、名古屋と同一なので、広島の記録を参照してください。



講義をする篠原先生

### 質疑

- 1 金融政策で人々が保有する貨幣量が増えたとき、モノを余分に買う（財に対する需要が増える）か他人に対して貸し出しを増やすか、この2つの方法しかない先生はおっしゃったが、タンス預金もあるのでは？

A：理論的にはタンス預金する可能性もあるが、マクロのレベルでは無視してもさしつかえないほど量が少ない。だからタンス預金の可能性を問題にする必要はない。

- 2 SDRの説明をもう少し？

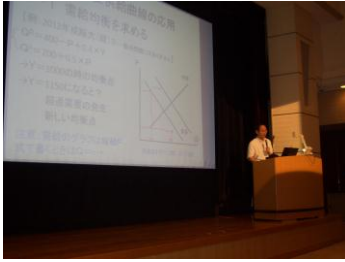
A：これも同じ。人為的に外貨を作り出したもの。但し、額から言えば全体に対して極めて少額である。

- 3 固定相場制と変動相場制はどちらがいいのか？

A：二つの仕組みしかないように思う先生方が多いが、それは間違い。きわめて厳しい固定相場から完全な変動相場まで、バリエーションは多数ある。そのなかで各国が都合の良い制度を採用している。また、どちらの制度にもメリットとデメリットがあり、どちらがすぐれているとは断定できない。

## 第三時間目「入試問題を活用した経済学習の進め方」野間先生担当

内容は、広島、大阪、名古屋と同一なので、広島の記録を参照してください。



講義をする野間先生

第四時間目 講演「経済の考え方は何に役立つのか」柳川範之先生



質問をする柳川先生

1 はじめに

教科書を読んだりして、高校の経済学は難しいなと感じた

これは大学でも同じこと

学生は、教えたことを大抵わすれてしまう

ただし、学んだことの根幹は忘れない

だから、経済学で細かい理論などを教えることも大事だけれど、考え方をマスターすることが大事

そんな基本的なところに立ち返って皆さんと一緒に考えてゆきたい

2 まずはこんなケースを考えてみて欲しい

皆さんに質問します：希少なものをどう配分するか？

ラーメン屋 ラーメンを食べて死にたいという老人 600円 2000円出すから先に食べさせてくれ？といったらどうするか？ 考えてみて欲しい

これが医者だったらどうするのか？

では、ラーメン屋と医者の違いは何か？

さらに、医者になったとして、

苦しんでいるようには見えないが、本人が苦しいといっている場合はどうか？

緊急の治療を要する殺人者とそれほどでもない被害者とどう違うのか

(手を上げてもらったり、意見を募る→治療を要する殺人者のほうが多い)

ここでの話から何が分かるか？ 機会費用という概念がここで登場する

行列の場合は、時間の機会費用を払っている

お金を出す場合は、金額の多寡で配分を考えるというケースである

お金以外の要素で並ばせる場合もある

なぜラーメン屋は、行列を作らせるか？ ラーメンだから、並ばせると人気があるから  
これは、人気アイドルのチケットを主催者側がオークションで売らないか？ということと同じ

では、どのような人が行列に並びやすいか？

吉祥寺の羊羹屋さんのケース、並ぶのは時間の機会費用が安い人、だから高齢者が多い  
忙しいビジネスマンは15分でも機会費用が高い 何千円出してもラーメンを食べたい  
しかし、医療は少し事情が違う

医療はサービスを出しての側がなんらかの基準でセレクションしている

なぜかは理由があるわけではなく、倫理的なもの

こんなケースもある

ハワイのトラムの行列 ドライバーが乗る順番を選ぶ 一番前に並んだ人を乗せなかった  
(日本では考えられない)

### 3 希少なものの配分方法

皆さんに質問を続けます

ケース1の質問：

100人の避難所に届いたおにぎりが30個、全員に配れなかったからどうするか？

年齢順？ 必要順？ 欲しい順？ 抽選？

この場合は公正とは何か？

(会場から分け方を聞く)

このとき、避難所では30個を捨てた

同じ事例：羽田の利用権をどこの航空会社に与えるか？と同じ

経済学者はオークションで決めるという

なぜなら、本当におにぎりが必要である人がだれかがわからない(情報の非対称性)

そんなときに、一番公正と思われる方法は、真剣度をはかること

金額をつけてみる、300円出したい 100円でいい

それだけの金額を出したいということは、それだけ真剣、深刻であるということになる

オークションはお金だが、それ以外の方法もある

100枚の商品券を配る 今本当に必要な人は今沢山使うという方式

欲しい順をどうやってあぶりだすかが、一番難しい

希少性は世の中全てにある

経済の基本は希少な資源をどう配分したら、経済がどのようにうまく回ってゆけるかを考える

価格メカニズムを使わないで希少なものを配分する事例が以上の事例である

### 4 コミットメントということ

ケース2の質問

津波被害で居住禁止区域に家を建ててしまった人を守るために堤防を作るべきか？

(作らないが 圧倒的多数、作る 少数)

同じ構造の事例

渡航禁止の国に行った人間を守るべきか否か

(保護すべきが増える)

保険料を払わなかった人に社会保障を提供すべき否か

(提供すべきは4分の1くらい、理由は人権であるが提出された)

この話の難しさは、コミットメントの問題

コミットメントとは、つまり、手を縛るということである

助けることのメリット、デメリット

助けたら、やっつけてしまえということになる

でも、助けないという政策はとれない 実効性を担保できない

コミットメントのケース

政府が実際にできればコミットメントになる

現実には、難しいケースが多い

## 5 ゲーム理論で説明する

教師と学生間のゲーム

試験をする・しない、勉強をする・しないケース

逐次手版ゲーム、(図を参照のこと)

後ろ向き帰納法で解く

教師は試験をしないがどちらも利得が多い

学生は勉強しないがどちらも利得が多い

ゲームの結果は、ナッシュ均衡になるが、あまり望ましくない

その場合、教師は学生に勉強して欲しいから「試験は必ずやる」という

その発言が信じられるのであるならば、最初より、ベターな結果がでる

問題は、教師の発言を学生が信じるかどうか こけおどしであれば成立しない

コミットメントを確実にするためには

堤防の事例 家を建てる(勉強をしない)、堤防を建てる(試験をやらない)の二つの選

択のなかで、事後的に、堤防を作らないということをおこなわせるかどうかカギ

でも、これは作った後になったらかなり困難なことになる

同じことは渡航禁止区域のケースでも同じ

救わないというコミットメントができればゆかない

社会保険、払わないと何もやらないということができればよい

問題は今の行政では、コミットメントができない

見殺しにはできない

ある程度の救いの手を出さねばならないので、保険料の未払いがおこっている

これは、事前と事後の評価のありかたの違いが対応の違いに大きくでてしまう  
公正は事前に見るのか、事後的にみるのかでかなり違う

## 6 これ以外のケース

ケース 3：貧困のわな

なぜ貧しい国と豊かな国があるか

違いがあるから、

だったらそれをなくせばよい

なぜ違いがなくせないか 貧富の差はかえって拡大している

なぜ先進国と同じようなことを貧しい国はなくせないか

一つの理由 紛争が多い 政治の理由

複数均衡の問題

ゲーム理論のマトリックス

投資する、投資しない 囚人のディレンマのケースではない

一緒に投資をしたほうがうまくゆくのだが 二つの均衡がある

選ばれた均衡が悪いという理解ができる

両方が投資をするという均衡に戻ればよい

日本経済の現在でストーリーを作ることができる

ビックプッシュのやり方でテイクオフできる

ケース 4：貨幣バブルの話ができる

紙幣がなぜ価値をもっているか

同じ構造で、バブルの発生も語れる

## 質問

Q：衣類のケースの場合、100人を小グループにして考えさせれば廃棄しなくとも良くなる  
のではないか？

A：たしかにそれは一つの案。同じことが地方分権の考え方に通じる。